学習指導要領　幼稚園教育要領

ナゴヤ子ども応援大綱

名古屋市教育振興基本計画

学びの方針　ナゴヤ 学びのコンパス

実現したい市民の姿

自由な市民として互いに認め合い、共に社会を創造する

目指したい子どもの姿

ゆるやかな協働性の中で自律して学び続ける

重視したい学びの姿

・自分に合ったペースや方法で学ぶ　・多様な人と学び合う　・夢中で探究する

どの学校園でも大人が大切にしたいこと

子どもは有能な学び手であると理解し、子どもの学びに伴走する

・子ども一人一人の思いや願いを尊重する　・子どもと対話する

・子どもの自分なりのチャレンジを大事にする

令和7年度南陽東中学校　努力点

主　題　『　関わり愛　学び愛　認め愛　』

～振り返りによる認め愛を通して～

主題設定の理由

一昨年度は、他者と広く関わりながら学び合う基盤をつくるため、子ども同士の関わり合いの機会をもてる学年・学級経営に取り組み、昨年度は、学習における学び合いの対象を広げ、ゲストティーチャー等の多様な人と学び合う場面の設定・工夫を行ってきた。その結果、学校評価アンケートでは、安心な学校生活について高い評価となっている。一方、キャリア教育については、３年生では高い評価となっているものの１年生では低い評価となっており、進路について考えることが受験・就職のみと結びついていると考えられる。

３年目となる今年度は、これまでの取り組みを継続しつつ、キャリアパスポートを活用した振り返りによる認め合い活動を行うことで、自己理解・自己管理の力を伸ばしつつ、それが自分の進路選択へつながっていくことを意識させたい。

目指す子ども像

自他の存在を尊重し、多様な人と学び合い、認め合うことのできる生徒

研究組織図

校長 ― 教頭 ― 推進委員会 努力点 ― 学年・学級経営部 / 学習指導部

部会ごとの手立てについて

＜学年・学級経営部＞	＜学習指導部＞
○　子どもが関わり合う基盤をつくるための学年・学級タイムの設定 ○　キャリアパスポートを活用した振り返りによる認め合い活動	○　ゲストティーチャー等を活用した多様な人と学び合う場面の設定・工夫 ○　自他の存在を尊重する態度を育てる授業実践

努力点研究推進計画

	学年・学級経営部	学習指導部
一学期	努力点・部会の設定	
	・生徒の実態把握 ・学年・学級タイムの設定計画 ・キャリアパスポートの作成・活用	・生徒の実態把握 ・出前授業・授業計画の立案
二学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアパスポートの活用 ・計画の振り返り、改善	・授業実践 ・授業の振り返り、改善
	中間まとめ報告	
三学期	・学年・学級タイムの実践 ・キャリアパスポートの活用	・授業実践
	学校評価アンケートの実施・分析 次年度に向けた努力点設定および推進計画の立案	

努力点推進の具体的な方法

＜学年・学級経営部＞

①　子どもが関わり合う基盤をつくるための学年・学級タイムの設定を計画する。
②　学年・学級タイムに向けて、子どもとともにレクリエーション等を企画する。

①　キャリアナビゲーターとともにキャリアパスポートを作成する。
②　学活・道徳・総合等の時間を使って、振り返りによる認め合い活動を行う。

＜学習指導部＞

①　思春期セミナーやいじめ予防出張授業等の出前授業を計画する。
②　出前授業の中で、それぞれの職業についての話もしてもらうよう依頼する。

①　自他の存在を尊重する態度を育てる授業について計画する。
②　計画を全職員に配付し、可能な職員はできる限り参観するようにする。